

広報



ごじょうめ

ユーラシア大陸から使節団

— 訪日ソ連青年代表団来町 —



森山の頂上から町の姿を展望する一行

6名の青年男女来町

5月17日ソビエト連邦（正称はソビエト社会主義共和国連邦）から、男女6人の青年がこの町にきた。これは、国際親善事業として一行30名が日本を訪れたものである。

秋田県でこの受け入れを担当したのは、訪ソ青年の船団員などで結成されている、秋田県青年海外研修生の会であった。

森山の頂上から町の姿を

町の視察は、森山の頂上からその姿を展望することから始まった「すばらしい眺めだ」と言ってくれた。製材所と酒造会社に足を運んだ時は産業と資本家の関連、森林の高度利用と日本酒の醸造行程に興味を示した。40度のウオッカに親しんでいるせい、日本酒を試飲する時は、グイッ、グイッと二口三口で茶飲み茶わんを空にした。相当いける、その理解に言葉の障害はなかった。

若きエリートたち

一行は先にソ連邦を視察している、畑町の荒川達雄さん宅を訪問した。荒川さんは、日本の姿をみての感想をもとめた。「日本は好きだ」これが唯一の答だった。体制の違いに触れるようになると、かたくなに口を閉ざした。時間をおいてまたたずねた、結果に進

展はなかった。通訳は、極東研究所に勤め外交を担当しているアリエフ・シャギ・アクサモビッチで、31歳の博士であった。外の5人も経済学者や工場などで若くして現場の責任ある地位におる方たちばかりで、エリート群芳であった。

比でない国の大きさ

彼の国にカスピ海という塩湖がある。青森から下関までの長さがあるという。地図で見るとその湖が小さく見える、国の大きさは日本の比でない。世界の流れを左右する国の一つでもある。

今日本でかかえている深刻な問題の一つに、200カイリの漁業問題がある。1カイリ—1850メートルを改めて知った人も多いだろう

パーティで親ほくを深め合う

午後6時30分から、訪ソ青年の船に参加した町内の青年を中心にパーティが開かれた。手まねものまねで言葉の壁を越え、親ほくを深め合う姿に体制の違いは感じられなかった。長い時間をかけても交流を繰り返し、理解を深め合うことが障害を一つ一つ取り除く最もよい方法かも知れない。次代を担う若者たちにとって、このたびのソ連邦青年代表団の訪日とそのきっかけになってほしい。

（昭和37年12月5日第3種郵便物認可）
おあげします

秋田湾地区開発計画のあらまし

鉄鋼一貫製鉄所の導入めざす

「秋田湾地区開発基本計画」は、県議会秋田湾地区開発特別委員会の審査、県議会の了承を得て成案となった。昭和四十四年以来検討してきた秋田湾の開発構想が、基本計画としてまとまったことになる。

開発の必要性

秋田県が長年抱えてきた課題は大きく分けて

①若年層の県内定着と人口構造の是正

②出稼ぎの防止

③産業構造の改善と所得水準の向上

の三つで、この解決は県勢発展に不可欠の条件である。

県では、この基本計画をもとに引き続いて環境影響評価の作業を進める。また港湾、道路などの事業を実施するため、各種施設の建設計画の策定、漁業関係の調整、

ものである。

工業基地建設

工業基地建設

用地の造成は船越水道を境に、男鹿側埋め立て地には製鉄所、天王側埋め立て地には関連工業を立地させる計画である。このうち、工業用地に使うのは千九百ヘクタール、残りの六百ヘクタールは公園、緑地、港湾などの公共用地に使用される。

企業進出と着工の時期

秋田湾地区開発の今後の手続きとして、環境影響評価の実施、漁業補償の円満な解決、進出企業の誘致見通しの確保、さらには港湾建設、海面埋め立てなどがある。埋め立てなど基幹となる工事は、進出企業の見通しがついた段階で初めて着手される。そのため、中核となる製鉄所、関連工業の誘致は最も重要な問題となる。今後、各界、各層を網羅した強力な誘致体制をつくり、秋田湾立地に向けて運動を展開していくこととしている。

鉄鋼需給の見通し

この計画の成否は、その中心となる製鉄所の誘致が実現できるかどうかにかかっている。その背景となる鉄鋼需給の将来展望が、特に重要となる。今、世界経済は不況であり、国内の各製鉄所の操業率は約七〇％程度に落ちているだけに、秋田湾地区に製鉄企業はないのではないかと心配する向きもある。

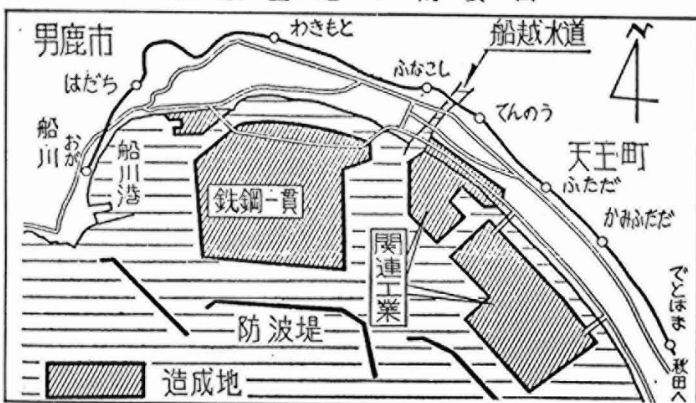
しかし、秋田湾地区の開発が、計画どおりのスケジュールで進んだとしても、一部操業が開始されるのは昭和六十年代前半に入ってからである。全面操業は、七十年

代にかけてのものであって、その間には鉄鋼の需要量は着実に増大すると見込まれている。公表されている数字によれば、国土庁は昭和六十年には千九百五十万トン不足し、この分は新たに立地された製鉄所で生産する必要がある、としている。見通しについては、確定的な数字をあげることは難しい

地元産業の振興

工業開発で農地がつぶれ、周辺の農業労働力の流出が起り、農村がさびれるのではないかと心配する向きもあるが、原則として農地を工場用地、住宅用地などに使うことはない。むしろ、この開発で地域一帯の人口が増え、野菜、果物、畜産物などの消費が増大するので、今の農業形態から都市近郊型農業のような新たな農業の展開発展が期待される。

工業基地の概要図



また、この開発が始まれば地元中小企業に対して、相当量の工事の発注や物資調達面の仕事が増え、期待されることになる。

地元雇用の促進

約二万五千人の従業者が、現地採用されるとの見通しに対して、この数字は多すぎるのではないかとという声がある。しかし、この数字は、現在日本で設備、技術面で最も進んでいる製鉄所の実績と今後の近代化の予測、本県の就業動向などを分析しての予測、によつてはじき出されたもので、過大見積りではない。

もしその時になって、製鉄所を建設しようとしても、設計から操業までには長い年月を要するので、そのためには将来の鉄鋼需要の増大に備えて、製鉄所の建設は進めおく必要がある。秋田湾地区の製鉄所立地も、そうした将来展望に立って計画されている。また国内でも残された数少ない建設候補

する。

環境影響評価の実施

秋田湾地区開発ではこれまでの開発の反省を踏まえ、環境におよぼす影響を事前に十分予測評価し、その結果を住民に公表するほか、環境の保全が可能であると判断した上で、初めて開発を行う。

環境影響評価書案の公表に至るまでの間においては、中間報告をもつて関係住民に対して説明を行う。住民等の意見と、それらに対して講じた措置については、評価書案に明記して、これを公表するようにする。

事業資金の確保

この開発における事業費の内訳は、当面の国の負担が千五百七十一億円、県が四千七百七十四億円、市町村が百九十七億円、誘致企業などの負担が二千七百三億円である。しかし、この中には用地造成費などのように、一時県が進出企業の肩代わりする分も含まれているので、最終的な県の負担は九百五十一億円である。それに、この事業費は約十六年間に分けて投入され、また資金確保の手だてを十分講ずることにより県・市町村の財政を大きく圧迫することはないと考えられている。

秋田湾地区開発は、長期にわたる大規模な地域開発事業だけに、県民生活と密接な関係のある福祉行政などに支障があつてはならない。県では、このことを十分に念頭において適切な措置を講ずることとしている。

(資料秋田湾地区開発基本計画から)

今後の稲作管理

— 早目の追肥 防除が必要 —

今年には好天に恵まれ、田植作業も例年に比べ早く終っており、
一、苗代期の気温(四月・五月)
平年積算気温
二四九・三度(100%)
52年々二四三・三度(97・6%)
53年々二六八・〇度(107・5%)

この表からも判断されますように、気温が高く経過して、苗の生育も良く田植も順調に進められましたが、やや従長軟弱気味になっており、今後の管理は十分注意してください。

二、補植苗は早めに処分すること

田植された田んぼに補植用使用する苗が植えられておりますが、早目に補植を終えて余り苗は土に埋めるなど処理してください。遅くなりまると、病害虫の発生の源になりますので、特にササニシキ栽培地帯で注意してください。

三、追肥は計画的に早期に

今年には、水田の乾燥も進んで、例年になくチッソの発現が早いと思われる。活着をよくし、早期に有効茎を確保することです。早期に分けつを確保するには、チッソだけでは不十分です。分けつにはリンサンが大きな役割を果たします。早期に行いましょう。安定増収には早目に早目の分けつ確保が前提です。

四、きめ細かな水管理を

水管理は稲作栽培にとって一番

大切な作業です。地温を高め早期生育をおう盛にし、丈夫な分けつをつくることに配慮しましょう。田植後活着まではやや深水にし、天気の良い日中は地温をたかめるようにしてください。

五、雑草防除方法

ことしは高温日が続いているので、薬剤散布は早目に行い、特にホタルイ、ミズガヤツリなど多年性雑草の多いところでは、田植後四・五日にマーシエツト粒剤(反当3キロ)を均一に散布することと水管理に注意し除草効果を高めるようつとめてください。

六、病虫害の防除は適期に

今年には、例年になく好天続きで病虫害の発生は早くなる見込みです。適期をのがさず防除しましょう。

イドロオイ虫

平年並かやや早目の発生になりそう。特に山間、山沿、風当りの少い水田では注意してください。適期は六月中旬頃を目安に。

回カラバエ

やや早目の発生、特にアキヒカリで昨年キズ蟻が発生した水田は要注意、防除適期は六月下旬。

いもち病

今年にはササニシキの栽培が多くなり、葉いもちには田んぼの巡回を怠ることのないよう早期発見早期防除に努めてください。

大豆の播種は五月下旬から

ことしは水田利用再編対策で、大豆が多く栽培されそうです。大豆の播種期は五月下旬からです。大豆は排水の良いところを選び、集団で転作するのがのぞましい。

特に注意したい点

- ① 暗きよを掘ること
- ② よい種子を選ぶこと
- ③ 砕土をよくすること

昭和五十三年度

花いっぱい運動

花のある生活を
みんなの力で

五城目町、同教育委員会および五城目町公民館は、町をきれいにする運動の一環として、今年も「花いっぱい運動」を進めてゆく町内部落会、職場、学校などたくさんの方の参加を呼びかけている。

草花苗の銀行開設

これは、各家庭、団体、グループなどで育てた余分な苗を預託して、それを必要としているグループや学校などへ、無料配布することをねらいとしている。「花いっぱい」のきれいな町づくり」に活用して欲しい。

花の苗を預託したい方は、六月五日まで五城目町公民館へ申込みをお願いする。

草花苗の無料配布

六月中旬に、町内部落会、学校、職場、グループなどに対して、三種類(サルビア、マリゴールド、ペコニア)の苗約二百五十本を無料配布する。

④ 株数を多くすること(坪当り三〇株程度)

⑤ 土壌改良剤を十分施し、酸性土壌を改良すること

以上が特に大切です。

大豆作りは、いろいろ難かしきもありますが、それを克服したとき喜びもまた大きいものです。互いに励まし合いながら大豆づくりをいたしましょう。

料配布する。

花の苗を希望する団体、グループは、六月五日まで五城目町公民館へ申し込んで欲しい。また、苗の購入を希望する団体、グループなどに対しては、五城目町公民館で幹事する。

詳しくは五城目町公民館まで
電話四四一一番

五城目町の石仏 ⑦
小川元生



浦横町 86 × 50 × 33

まるで円の構図によって造られたような石仏である。丸みをおびて厚みがあり、どっしり構えて安定感がある。

この石仏と出会ったとき、一瞬どきりとした。これまでの石仏には見られなかった、思ひきった省略法で彫刻され、表情も仏の表情とはかけ離れた土俗的であるが、全体的には新鮮な感覚があらわれて見えたからであった。

一見稚拙、あるいは稚氣を思わせるものでも、観察を進めると確かなものには、稚拙とはいえない巧みさが見えてくる。

このような石仏を前にすると、当然のことながら石工への関心もそられて、地元の石工の手になるものか、それとも評判の高かった男鹿の石職人の技術でもとり入れたのか、探りたくなってくる。

陶芸教室へどうぞ

ことしも町民講座の一つとして陶芸教室(楽焼き)を開きますのでご参加ください。

・場 所 広域体育館
・会 費 五百円
・定 員 二十名まで
・申込み先 五城目町公民館(四四一一)へ直接申込みください。
実施期日は申込み後本人に直接連絡します。

放流された魚種も、アユをはじめ、ニジマス、ヤマメなど四種類におよんでいる。アユの解禁ともなると、町内外の釣マニアで馬場目川は賑わう。また富津内、内川川でも釣れた鯉の大きさを競う話題も多くなっている。

観光資源開発の役割をになっての放流であったが、ようやくその効果がでてきた感じに心強い。

組合ではこのあと、アユ、ニジマス、ヤマメなど放流する。

漁業協同組合が再編発足した昭和四十八年から続けられているもので、五年目になる。その前は、町の事業として四十六年から取り上げ、アユ十萬尾を放流している。

馬場目川漁協

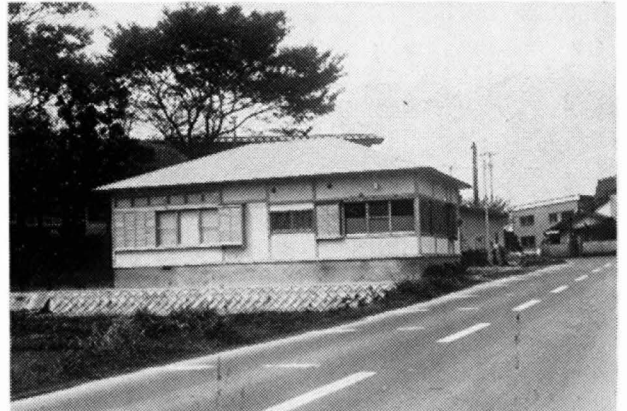
120キロの鯉放流

馬場目川漁業協同組合(組合長佐藤邦彦・組合員五三名)は今年度事業の一つとして、五月三日役場前、大手橋付近と坊村、帝釈寺付近の浅瀬に二二〇キロの鯉を放流した。

この放流は

中村地区 集会研修施設完成

木材の町にふさわしい造り



館越地区集会研修所

昨年の九月に着工した中村地区と、館越地区の集会研修施設が完成し、竣工式を待つだけとなった。これらは、林業構造改善事業の一環として、国と町の補助と地域住民の寄付により建られた林業労働者の集会研修施設である。

館越地区集会研修所

総事業費七百六十二万円、木造平屋建九六平方メートルであり、場所は館越部落のはずれで、県道のそばである。内部は十畳の和室が二部

内部は和室、実習室のほかに、パントリー（食器室）、倉庫、ホール、水洗トイレを備えている。

材料はアルミサッシを一切用いず、杉、ヒバなどの木材を使用しており、木材の町にふさわしい造りである。

中村地区集会研修所

総事業費九百四十七万円、木造平屋建一三二平方メートルであり、場所は旧中村公民館跡である。内部は十五畳と十二畳の和室と、約二四平方メートルの実習室がある。広さにおいても、造りにおいても、種々の目的に使用できるよう設計されている。十分な管理のもとに、この

屋に、約二二平方メートルの実習室がある。館越地区には、いままです集会施設がなかっただけに、地域住民の喜びは大きいと思う。今後、この施設は地域のコミュニティづくりの中心として、利用されるであろう。

税金は納期限内に納めましょう

町(県)民税第一期の納期限は六月三十日

納税通知書は、納税組合員の方へは組合長を通じ、組合員以外の方へは郵便で、六月十日頃までにお届けいたしますので、納期限内納付にご協力ください。なお、二、三、四期分を前納しますと、納期前月数一カ月につき一割の割合で前納報奨金が交付され、大変有利な取扱いとなっております。都合のつく方は、前納されるようおすすめていたします。

・課税についての問合せ先

役場 税務課

貧血解消で健康な家庭づくりを

― 杉沢地区に貧血学級開設 ―

五城目保健所と五城目町は、今年度杉沢地区の婦人を対象に、貧血学級を開設することになった。体がだるい、めまい、頭痛、息切れといった症状は、血液の赤血球である。

厚生省の「国民栄養調査」によると、成人女子の三人に一人は献血もできないほどの貧血症だとい

うことがわかった。

そのなかでも多いのは、鉄欠乏性貧血などの栄養性貧血である。これは、レバー、ひじきなど、栄養を考えた食生活で予防できるが

婦人の貧血は母子保健の上からも非常に大切なことであり、この機会に積極的な学習活動をすすめて、正しい食事の習慣を生活の中に定着させながら、主婦の力で健康な家庭づくりをすすめてほしい。

年間の学習計画は次のとおりであるが、内容は二回の血液検査と保健所栄養士による栄養指導が中心

となっている。

一、場所 杉沢公民館

二、時間 午後一時から

三、日程内容 左記のとおりです

・六月十五日(木)

開講式 貧血の健康におよぼす影響・検査 血液検査

・七月二十四日(月)

実習 調理実習 保健指導 日常生活の注意 映画 うすい血

・八月二十一日(月)

実習 調理実習 食生活 貧血と食事

・十一月七日(火)

実習 調理実習 検査 血液検査

・十一月三十日(木)

実習 調理実習 閉講式 反省会

※十月中旬通信指導一回

あなたの食生活はどの顔

大変良い顔になる様がんばろう!!

大変良い顔	少し工夫のいる顔	早くなんとかしたい顔	困った顔

環境週間

よりよい

環境を求めて

六月五日(土)～十一日(木)

六月五日は「世界環境デー」である。それにちなんで、わが国においても第一回の「世界環境デー」以来、六月五日を初日とする一週間を「環境週間」と定めた。

環境問題に対する内外の関心は高まりつつある。この機会に、人間とかかわり合いをもつ生活環境や自然環境に対して、私たちはどのような義務と責任を持たなければならないか考えたい。そしてよりよい環境を将来に残すよう努力しなければならない。

県では「環境週間の期間中、美化思想の普及をはかり、ごみの不法投棄の一掃や公害の総点検などを行う。また、「県民の森」「いの森」のごみ持ち帰り運動を行うので、協力をお願いする。

屋外広告物の美化

県では「環境週間の行事のひとつとして、秋田県屋外広告物条例の規定に基づき、次のような広告物の除去に努めるので、協力を呼びかけている。

① 広告物が著しくたい色したもののおよび、老朽または破損の恐れのあるもの。

② 道路交通の安全を阻害する恐れのあるもの。

③ はり紙および捨看板の条例違反のもの。

ごみの不法投棄一掃

ごみの不法投棄を一掃するため、期間中次のような運動を行う

ので協力をお願いする。

① 不法投棄地点を住民参加のパトロールにより点検する。これによって確認された不法投棄については、投棄物から投棄者の発見に努めこれに撤去を命ずる。投棄者不明の場合は、土地占有者および管理者に対して、直ちに清掃するよう協力を求める。

② 前年度の不法投棄地点の状況を確認し、継続して不法投棄が行われている地点については、土地占有者および管理者の協力を得て立札、柵の設置等の必要な措置を講ずるよう協力を求める

※不法投棄地点を発見した場合は直ちに保健所が現場保健衛生課まで通報をお願いする。

調理師特別研修会

全国経営管理協会主催による調理師特別研修会が、六月二十五日から県青年会館で開講される。これは国家資格取得のための研修会である。

・日 時

六月二十五日から八月まで延べ六日間(集中研修一日を含む)

・場 所

県青年会館(秋田市寺内)

・受講資格

調理業務に携わり二年以上の経験有する者(飲食物を調理し販売するすべての者、および学校、病院等の施設で飲食物を扱う者を含む)。学歴、年齢不問

◎定員になり次第締切

※詳細は、〇一七七(青森市)

七五・四六五一(代)

講事係へ

市神祭に特設市場

ビックリ市や福袋も

市場は町村が祭祥の地

五城目町定市場組合(組合長小林繁雄、組合員一二七)は六月十四日市神祭のときに、市場の繁栄を祈願して、午後三時から夜にかけて特設市場を開くことになった。この市場は、祭祥の地と言われている馬場目町村に市神をまつられてから、約四八四年の歴史をもっており、全国でも貴重な存在となっている。町の発展を育てあげてきた市場も、今は主婦たちの新鮮な食べもの穴場として重宝がられているが、売る人と買う人の心の通いはますます強い結びつきになり、この市場を守っていくこうとする心意気を感じられる。

申込みは六月七日まで
出店希望者は次の内容によって申込んでください。
一、特設日時
六月十四日 午後三時
二、場所
下町通り

第十二回 南秋卓球選手権大会

五月二十八日午前九時から広域体育館で、南秋田郡卓球連盟主催による第十二回南秋田郡卓球選手権大会が開かれた。

大会には、約三百人の選手が参加し、各ブロックごとにトーナメント方式で行われた。成績はつぎのとおり。

決勝

・中学校男子
一、二年の部
真壁 2121 1717 加藤

・天王中
(天王中)
中学校男子
三年の部
佐藤 2121 1323 11 加藤

・(五一中)
(五一中)
中学校女子
一、二年の部
渡部 2121 1712 21 鷺谷

・(井川中)
(井川中)
中学校女子
三年の部
岸本 2121 1415 21 坂井

・(大湯)
(大湯)
一般男子
一般男子

・(大湯)
(大湯)
一般男子
一般男子

・(大湯)
(大湯)
一般男子
一般男子

・(大湯)
(大湯)
一般男子
一般男子

・(大湯)
(大湯)
一般男子
一般男子

店区画
申込み者数によって区画する
四、申込期日 六月七日まで
五、申込先
五城目町古川町 工藤義男(金魚店)
六、その他
市場組合員外でも出店できるの
で希望者は申込んでください。
安くてビックリ家族でどうぞ
十四、十五日は、商工会、観光
協会、市場組合共催で、下町通
り歩行者天国。下町、上町商店
では手造りの里、ピンクレディ
のものまね大会などいろいろ楽し
めるような企画をたてている。値
だんもグットサービスするとか。
雨が降らないように市神様。

三戸 2121 1313 本間
(八郎湯役場) (五信金)
一般女子
小武海 2121 1812 鈴木
(秋田トヨタ) (由利高)
男子30才以上
佐々木 2121 1718 22 猿田
(小玉合名) (五城目町)
男子40才以上
佐々木 2121 1611 八柳
(小玉合名) (湖東消防)
男子45才以上
川上 2121 1813 岡田
(飯田川町) (飯田川町)
家庭婦人
工藤 2114 21 1521 116 近野
(五城目町) (五城目町)

第17回秋田県女子体育研究会 親しみのもてる表現運動

五月十九日午前八時半から広域体育館で、第十七回秋田県女子体育研究会・五城目大会が開かれた。県内各地から、学校で実際の指導にあたり、約百二十名参加した。この研究会は、昭和三十七年に発足し、以来体育のリズム運動において「表現力を豊かにする」という指導はどうか「表現力豊かにする」という研究主題のもとに行われてきた。今回の五城目大会では「親しみのもてる表現運動・ダンスの指導はどうかあればよい」の課題について、馬場目小学校・米谷和代教諭などが研究発表を行った。その後、千葉大学の三浦助教教授を講師に、ダンスの実技研修を行った。

社会福祉協議会の決算書から

町民の善意が強力な支え

善意の預託
百八十万円を越す
社会福祉法人五城目町社会福祉協議会は、五月二十六日町民センターで五十二年度決算等を議題にして評議員会を開いた。五十二年度福祉協議会の活動内容をみるとつぎのようになっている。
・赤十字募金
目標額 九十萬九千三百円
達成額 百十七萬
・共同募金
目標額 百十九萬五千九百円
達成額 百二十七萬七千一百八十四円
募金率 一〇六・九七％
・心配ごと相談所関係
取扱件数 二十七件
相談所内での解決件数 十七件
・たすけあい資金関係
貸付件数 十五件
貸付金額 八十四萬五千円
・善意銀行預託金品
本年度 百八十二萬八千六百六十六円
前年度繰越金 百四十七萬六千〇四十六円
(たすけあい資金特別会計へ百万円、一般会計十八万七千円を繰入れてる)
・世帯更生資金関係
申込件数 十四件
決定件数 十一件
申込額 七百八十五萬円
決定額 四百六十萬円
償還額 三百四十萬五千六六二円

歳末たすけあい運動関係
たすけあい義援金
百六十五萬五千八百三十三円
前年度繰越金 九萬五千五百八十八円
配分金 百九萬六千七百円
内訳 生活保護世帯、ボイダーライン、一人暮らし老人、長期療養者、老人ホーム入所者、精神病患者、施設入所者、母子、父子世帯、重度心身障害者、老人夫婦世帯、交通災害児、身体障害者(ボイダー・ねたきり)
・福祉バス利用日数 一三二日
約二・七日に一回の割合で利用されており、最も利用率の高い六カ月間では約一、四日に一回とフル回転である。
大きな善意に支えられて
社会福祉協議会は、町ではできない木目細かな仕事で町民の要望に応えるのを趣旨としているが、決算書を見ると、町内のみならず、から協力をいただいている会費百四十三萬八千二百円をはじめ、善意銀行への預託金が強力な支えとなっていることがわかる。
事務局は、この頃老若を問わず善意を預託してくれる人が多くなり本当に感謝にたえないと述べている。
たすけあい資金ご利用ください
たすけあい資金など利用したい方は、遠慮なくどしどし申し込んで生活資金に役立ててほしい。
困ったことがおきたら、まず事務局へ足を運んでご相談ください。
(電話二一〇〇番)
・五月十日
一万円 大川三三 浅野 広作
(亡母トヨ殿の香典返しとして)
・五月十五日
二万円 乙 市 小玉 鉄雄
(亡父鉄五郎殿の香典返しとして)

文学祭で

今年の力作発表

講演「創作のよろこび」

五城目町教育委員会と同芸術文化協会は、六月十三日町民センターで今年度の文学祭を開くことになった。

文学芸術に対する創作意欲を広くいきたらせ、さかんにするため、毎年一回町内のみならずから作品を募集し、入選作を一冊の本にまとめて、年間活動の記録としている。

文学祭の内容はつぎのとおり。

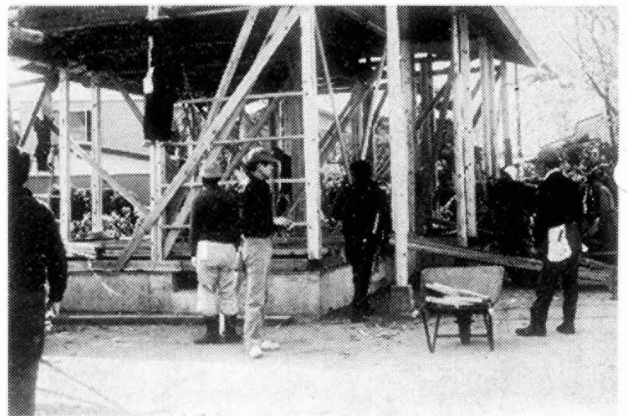
一、日時
六月十三日(火) 午後一時半
二、会場
町民センター(いずみ)
三、対象
文学のお好きな方は、どなたでも参加できる。
四、内容
①選評 各部門の選者から選評を行う。
②表彰 町内のみならずから募集した作品の中からすぐれたものを表彰。
③講演 「創作のよろこび」
講師 秋田県生涯教育推進本部 参事 荒谷 浩
午後四時十分ころには終る予定である。

昭辰町集会所棟上げ式

町長餅をついて花を添える

五月七日午後二時から、加賀谷町長出席のもとに、昭辰町集会所（仮名）の棟上げ式が行われた。敷地は昭辰町児童公園の一面で建物四六・二平方メートル、事業費二百二十万円、六月中旬に完成する予定である。

昭辰町内会長の伊藤一実さんは「町長の出身地でもあり、町内住民の地域活動に対する関心は大きい。集会所は町内住民の切実な願いのひとつであった。それを実現すべく、昨年より建設計画や相談を繰り返してきた。このたび、町の補助や有志の寄付を足がかりにして、町内住民の協力のもとに、建てられることになった」



完成が待たれる集会所

事業所統計調査に

ご協力ください

六月十五日には、全国いっせいに「昭和五十二年事業所統計調査」が実施されます。

わが国における事業所および企業の産業、規模などの基本的構造ならびに業態、所在する場所等の特性のほか、サービス事業所の営業状況を全国および都道府県等地域別に明らかにし、国および地方公共団体等における各種行政施

策の基礎資料とするとともに、事業所名簿を作成し、事業所を単位とする各統計調査のフレームとしての資料を提供することをねらいとしています。

調査の種類

調査は、甲調査、乙調査および丙調査にわけられています。甲調査および乙調査は、民営の事業所を対象として、丙調査は、国、地方公共団体および公共企業体を対象として、事業所の名称・所在地・事業の種類、従業者数など基本的事項を調査します。

調査の方法

このたび全国で約十万人の調査員が、六月十五日から二十五日頃までに、事業所を訪問し調査に当

結果の利用

この調査結果から、国をはじめ都道府県、市町村等の地域別に事業所および企業の産業構造を明らかにすることにより、各種行政施策の基礎資料として利用されるほか、国民所得、県民所得の推計等多くの分野に利用されます。

秘密の保護

事業所統計調査に限らず、各種の統計調査は真実が得られなければならない、その目的を達成できません。したがって申告されたことがらは統計を作る目的だけに使用し他の目的、例えば徴税などに使用されることは決してありませんから、ありのままをお答えくださるようお願いいたします。

老人医療費受給者証の更新を

～ 6月22日から各地区で ～

老人医療費受給の方は毎年六月中に届け出をすることになっています。この届けは受給者本人の住所や扶養義務者などを確認し、今後一年間の受給資格があるかどうかを決定する大切な届けです。今年も各地区ごとに次の日程で受け付けますので、該当者は「健康保険証」「印かん」を持ってきたて必ず手続きをしてください。

この手続きをしないと、医療費は自己負担となりますのでご注意ください。

日程はつぎのとおりです。

▼6月22日(木)

下山内・上山内・富田八田・台御蔵下・小倉・黒土

午前9時30分～正午

富津内児童館

協乙・落合・高千・北村・北北口

午後1時30分～午後4時

落合部落公民館

▼6月23日(金)

湯ノ又・小川口

午前9時30分～正午

湯ノ又部落公民館

浅見内

午後1時30分～午後3時30分
内川児童館

▼6月24日(土)

馬川地区

午前9時～正午

馬川分館

▼6月26日(月)

大川地区

午前9時30分～正午

大川出張所

▼6月27日(火)

野田・岡本・浦横町

午後1時30分～午後4時

森山分館

▼6月28日(水)

帝釈寺・町村・門前・蓬内台・寺庭・中村・小野台・平ノ下・水沢

午前9時30分～午前11時

馬場目児童館

国民年金保険料

納められない方は

免除の手続きを

国民年金の保険料は一月二、七三〇円ですが、家計が苦しい人や、失業、災害などで保険料を納めることが困難な方は申し出によって保険料が免除されることがあります。

希望される方は、老人医療費受給者の届け出と同じ日程で受け付けしますので、手続きをしてください。

保険料が免除されると、老齢年金は、免除を受けた期間だけ三分の一に減らされます。

あとで生活に余裕ができたときに、さかのぼって納めることもできます。

くわしくは住民課におたずねください。





おしらせ

無料・秘密厳守

特別人権相談所の利用を

六月二十七日午前十時から五城目町役場で、秋田人権擁護委員協議会と秋田地方司法局主催による昭和五十三年前期特別人権相談所が開設される。

土地、家の問題、近所とのトラブル、家庭のもめごとなどで困っている方は、気軽に利用して欲しい。

・日時 六月二十七日(火)
午前十時～午後三時
・場所 五城目町役場第三会議室
・相談内容
人権、結婚、離婚、親子、扶養相続、戸籍、借地借家、損害賠償、農地、登記、雇傭、交通事故、法律扶助制度による手続

青い羽根募金

水難事故防止運動にご協力を

今年もまた水に親しむ季節になり、水難事故の発生が予想されている。例年いけない幼児や児童がちょっとした不注意から水の犠牲になっている例が多い。次代を担う清新な原動力を、これらの痛ましい事故から守るために「青い羽根募金」運動を、県民総ぐるみで行うことになった。この町の募金目標額は十一万八千円となっているが、町内のみならずからよろしくご協力をお願いしたい。



図書はどこにあるのか

質問：先の広報で青年議会一般質問を取りあげていたが、町長の答弁の中に、図書館について説明があった。町図書館があることを初めて

町民センターの二階に図書室

答：図書館といわれるほど立派な施設はありませんが、町の図書室は、中央公民館の設立当時(昭和三十三年)から「町民文庫」として公民館の一室に設けられてきて

知ったわけだが、場所はどこにあるのか、またどのような手続きで利用できるのか、広報紙上でお知らせ願いたい。
一町民(十九歳男子)

おり、昭和五十年町民センター完成にともない、図書室も引継がれております。現在同センター二階の一室をこれにあてております。六月上旬からは、一階廊下にも本を設け、誰でも気軽に利用できるように準備しておるところです。

町内の電気工事業者(の人たちが五城目警察署の協力を得て、町内の信号機とカーブミラーの清掃を行った。この清掃は、毎年春秋の二回行っている。

献血ありがとう

ごさいます

図書の数は四千冊よりありますが、月曜日から金曜日までは、午前九時から午後四時まで、土曜日は正午まで貸出しをしております。

この外、県立図書館から月一度の割合で巡回文庫もきています。町内に集会所のあるところには、希望があれば一カ月交換の貸出しもしております。

荒川 幹子 6	松田 淳 2	石井 久雄 14	西井 信夫 6	北島光二郎 3	金沢 定男 4	錦織久美子 3	村井美智子 11	伊藤 静男 5	佐藤 幸男 9	渡辺カズ子 19	保坂 秀孝 9	加藤 昭男 16	中泉 基一 5	伊藤 正三 5	伊藤 長一郎 7	鎌田 泰子 1	川上 哲也 9	館岡 正美 8	藤島 俊明 7
猿田 正一 2	米田カズ子 2	館岡 晴悦 5	佐々木勝男 3	石川 久喜 5	小玉 輝夫 1	佐藤真理子 5	西井 篤子 6	松坂 季治 3	小玉 哲司 10	工藤 幸子 1	石井三和子 8	伊藤 嘉孝 23	驚谷 俊子 2	木村 吉雄 6	大山千代治 1	加藤 鐘子 4	一関恵美子 2	荒川 誠 3	館岡 雄浩 4

モデル住宅コンクール

小林勉君(上山内)入選

五城目建築士組合(会長斉藤政郎)は、かねて募集していた「モデル住宅設計コンクール」の作品を、五月十四日から十六日まで町民センターに展示し町内の人々に公開した。

景気回復の一つとして国でもテコ入れをしている住宅建築だけにマイホームを計画している人も多いため、予想以上の人でにぎわった。

同組合ではこれに気をよくして毎年続けたい計画をもっていた。入賞者つぎのとおり。

入選 小林 勉(上山内)	佳作 渡辺 虎夫(川原町)	小林 公樹(下山内)	伊藤 新一(矢場崎)	山口 裕(磯ノ目)	一関 初雄(蓬内台)	堀井 良一(昭辰町)	小林 友治(米沢町)
--------------	---------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------

純毛の六割は

うそつき表示だった

婦人服地を調査

先頃東京都消費センターがためし買いをして、婦人用服地を調査したところ、その表示の六割はうそつき表示だったという実態が明らかにされた。なかには純毛一〇〇%の表示がしてあるのに、実際はわずか一八・九%しか毛が含まれていなかった例もあったという。

毛の表示信じてよいか

また、混用服地でも適正商品は二十八点で不適正商品が上回ったという。

自分の衣料品を買う場合「毛一〇〇%」の表示の服地八

十点と混用表示のある服地六十点の計百四十点で、いずれも都内のデパートや小売店で購入して調べたもの。それによると、毛一〇〇%表示の服地の三分の二にあたる五十一点が、毛九七%未満の不正商品で「家庭用品品質表示法」で定められた九七%以上の適正商品は二十九しかなかった。

〇〇%「純毛」の表示を信じて買っている人が多いだけに、この調査報告は何ともショッキングなニュースであった。

住宅広告はいろいろなトラブルの積み重ねで、いかにわしとすの先入観があるが、ふだん信じていたものがうそだったということになる、疑問が次々と起こり何ともやり切れない心情になる。この町ではよもやこのようなことはないと思えるが、人命に関する安全表示などで、こんなことのないように祈るのみである。

(国民安全報から)

東北電力防犯街灯を町に寄贈

曙(あけぼの)町など

五月十七日、東北電力株式会社は防犯街灯四基を五城目町へ寄贈した。これは地域協調のもとに数年前から毎年行っているものである。今回寄贈された街灯は、曙町野田、門前、磯ノ目地区に据付けられる。

また、五月二十六日、東北電力株式会社五城目出張所と五照会(

伊藤 興武 30	小玉 金滋 1	原田 功輝 6	北嶋美保子 4	館岡 幸治 11	伊藤 直勝 14	伊藤 武次 2	小笠原信子 3	一関美智子 4	児玉 昇 10	石川 茂直 22	石井 博嗣 14	佐々木正男 10	児玉 泰 5	北嶋正千代 14	菅原弥三郎 3	金子 成敏 11	宮川 鐘一 18	石井 光雅 23	猿田 実 21	伊藤 秀夫 13	高橋 勲 3	畑沢 敏郎 12	小玉 レイ 3	小玉 三郎 3	北条 俊夫 9	渡辺 絹子 9	伊藤 幸男 4	石井 恵 6	佐々木広志 7	松橋 正直 1	館岡 金敏 9
石川 重光 2	小玉 博子 8	伊藤 隼子 12	鳥井 浩己 6	佐藤 裕治 16	伊藤 孝博 1	栗山 雅子 4	伊藤 周一 22	勝田 重信 27	工藤 兼一 14	島山 啓作 11	阿部 泰一 1	一関 勝己 25	佐々木照三 4	原田 芳博 6	八柳 博 14	椎名耕一郎 14	島山 政憲 8	渡辺 鉄雄 11	小玉 孝一 28	伊藤 広治 7	伊藤 準一郎 11	伊藤 民子 3	大山 清吉 4	佐々木三郎 1	渡辺 鉄男 19	二木 満 5	京野 正敏 2	渡辺 秀勝 19	加藤 正義 1	二田 紀義 2	荒川美紀子 8

荒川 幹子 6	松田 淳 2	石井 久雄 14	西井 信夫 6	北島光二郎 3	金沢 定男 4	錦織久美子 3	村井美智子 11	伊藤 静男 5	佐藤 幸男 9	渡辺カズ子 19	保坂 秀孝 9	加藤 昭男 16	中泉 基一 5	伊藤 正三 5	伊藤 長一郎 7	鎌田 泰子 1	川上 哲也 9	館岡 正美 8	藤島 俊明 7
猿田 正一 2	米田カズ子 2	館岡 晴悦 5	佐々木勝男 3	石川 久喜 5	小玉 輝夫 1	佐藤真理子 5	西井 篤子 6	松坂 季治 3	小玉 哲司 10	工藤 幸子 1	石井三和子 8	伊藤 嘉孝 23	驚谷 俊子 2	木村 吉雄 6	大山千代治 1	加藤 鐘子 4	一関恵美子 2	荒川 誠 3	館岡 雄浩 4